



えんだより R5.9



今日は曇り空。雨も降り少し涼しく感じます。しかし、今後の予報を見てみると今月半ばまで30度を切ることはないようです。とはいえ、田んぼや草むらの上をたくさんトンボが飛んでいると、暑くてもちゃんと秋に向かってるんだなぁと感じているところです。

この夏も、子どもたちは晴れた日には大好きなプールでたくさん遊びました。水に抵抗感があつた子も、少しずつ水が楽しくなっていく様子がたくましく思えました。昨日の“プールおわりの会”では、年長さんがみんなの前でこの夏のそれぞれの成長を誇らしげに披露してくれました。少し照れながら頑張っている子もいましたが、一人ひとりの姿は、この夏心身ともに一回り大きくなったことを証明してくれたようでした。



【保護者会環境整備】

今年度も、3クラスずつ2回に分けて計画しました。6月にはプールの設置・テント張り・園庭の整備・草取り・溝掃除など。そして明日2日はプールの解体・テントの片づけ・園庭の整備・草取り・溝掃除などをさせていただく予定です。6月にきれいに抜いてもらった草は7月8月の間にずいぶん伸び、草のジャングルのようにもなっているところもありますが、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。 ※2回とも参加することが難しかったご家庭の方がティッシュ2箱と雑巾2枚を持ってきてくださいましたので活用させていただきます。まだの方はよろしくお願いたします。



- 1日(金) 半日保育士(つき)
- 2日(土) 保護者会環境整備(たいよう・ほし・にじ)
- 7日(木)～8日(金) 図書貸出日(にじ・しずく)
- 8日(金)～9日(土) たいようぐみ お泊り保育
- 11日(月) 健康診断
- 11日(月)の週 身体測定
- 13日(水) ひだまり広場
- 14日(木) ひかりクリーンデイ
- 15日(金) 半日保育士(しずく)
- 20日(水) 誕生会
- 21日(木) 英語
- 21日(木)～22日(金) 図書貸出日(たいよう・つき)
- 22日(金) お弁当の日・親子遠足
(たいよう・つき・ほし)
- 25日(月) 避難訓練
集金日
- 27日(水)～29日(金) 出雲一中職場体験
- 28日(木)～29日(金) 図書貸出日(ほし・そら)
- 29日(金) キラリの森体験(たいよう)
- 〃 お月見クッキング(つき)

～絵本かばん～
読書の秋ですね。絵本かばんのご用意ありがとうございます。図書館の絵本をおうちに持って帰り、親子で絵本を楽しんでください。

9月1日は防災の日

先日は避難訓練の日に、お迎えメールの開封通知のご協力をいただき、ありがとうございました。保育園では毎月避難訓練をしています。先日の訓練は火災想定でしたが、大きいクラスの子どもたちは態勢を低くしたり口をタオルで抑えたりしながら上手に避難しました。何も起こらないことが一番ですが、日頃より万が一のことを考えておくことは大切ですね。家庭でも火災が発生したらどう行動するのかなど、具体的に考えておいたり、非常用品を用意するなど、もしもの時に備えておくといいですね。



【メディアにむしばまれる子どもたち】 ～小児科医からのメッセージより～

赤ちゃんのうちから子どもの過剰な映像メディア漬けが親子でまなざしを交わすという営みを奪い、親子のコミュニケーションの時間を削り取りました。YouTubeなどのメディアは、子どもの睡眠時間を削り、身体と脳(心)の疲労を増長させます。また、メディア漬けになった子どもたちは、体験の機会を奪われ、「幼い心のまま」大人になります。その「大人になれない」子どもたちはひきこもり、ニート、人の気持ちがわかりにくいといった青年になりやすくなりました。「こころの外来」に来院する子どもたちは、寂しさや不安からメディアのヘビーユーザーに変わりました。そして、パーソナリティに問題が生じることになりました。また、一方的に観るYouTubeやテレビは、言葉の発達も奪います。小学校の授業は先生の言葉から始まります。しかし、言葉でのやりとりが苦手な子どもたちは、「聞くこと」の土台ができていないため、「お話が聞けない子」に育ってしまいます。

ある中学生が書いたお母さんへの手紙を紹介します。その子はケータイ依存症です。お母さんがこの子に「ケータイやめなさい」というとキレて家に火をつけると大暴れして来院しました。手紙を読むと、「クソババア アホ バカ マヌケ」と書いています。その子は、中学生になるまではメディアを与えるとずっと良い子でそれに熱中していたそうです。メディアは、悪い影響ばかりではありません。私も夜はテレビを見たり、わからないことがあるとすぐに携帯を出して調べます。お笑い番組で心が和んだり、情報がすぐに手に入ったりして今はテレビや携帯なしでは生きていけないと思います。大人はメディアの子どもに与える悪影響を考え、過剰にならないように意識しないとダメだと思います。食事の時間は親子での会話を十分にとってはいかががでしょう。子どもと話をすると大人の方も癒されます。大人も子どもの良さを再発見することになるかもしれません。毎日忙しい私たちですが、親子でゆったりとした時間を！！と願います。

(園長 筆)

